

平成30年度

全国学力・学習状況調査

— 結果の概要 —

平成30年9月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	(1) 教科に関する調査	
	(2) 質問紙調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

II 調査の結果

1	教科に関する調査の結果	3
	(1) 各教科の状況	4
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《小学校第6学年 理科》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	《中学校第3学年 理科》	
	(2) 学校の分布状況	28
	(3) 各教育事務所の状況	30
	(4) 平均正答率の全国との差の変動	34
2	質問紙調査の結果	36
	(1) 児童生徒質問紙調査	36
	(2) 学校質問紙調査	41

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語A 算数・数学A 理科	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題
国語B 算数・数学B 理科	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

(2) 質問紙調査

児童生徒質問紙	学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
学校質問紙	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査日 平成30年4月17日（火）

6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数（義務教育学校，特別支援学校を含む）

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	208校	89校
児童生徒数	9,622人	9,902人

[本書における留意事項]

1 語句について

語 句	説 明
平 均 正 答 数	児童生徒の正答数の平均
平 均 正 答 率	平均正答数を百分率で表示
標 準 偏 差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値

2 到達状況の表記について

国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

3 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語，算数・数学，理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。したがって、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、国語（A・B），算数・数学（A・B），理科の教科ごとの、平均正答率等の数値を示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など、他の情報とを合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要である。

4 調査結果の算出方法について

平成29年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ1(3)「各教育事務所の状況」及びⅡ1(4)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

Ⅱ 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学、理科ともに全国より高く、A「知識」の方がB「活用」よりも高い。

学年	項目	県・国	国 語		算 数 ・ 数 学		理 科
			A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	A「知識」 B「活用」
小学校 第6学年	問数		12	8	14	10	16
	平均正答率 (%)	本県	76	61	68	59	66
		全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
中学校 第3学年	問数		32	9	36	14	27
	平均正答率 (%)	本県	79	65	71	52	71
		全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

《参考》

[平成29年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校 第6学年	本県	79	64	85	53
	全国	74.8	57.5	78.6	45.9

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校 第3学年	本県	82	77	69	53
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1

[平成28年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校 第6学年	本県	78.6	63.0	82.4	53.5
	全国	72.9	57.8	77.6	47.2

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校 第3学年	本県	78.1	70.8	65.6	48.8
	全国	75.6	66.5	62.2	44.1

[平成27年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
小学校 第6学年	本県	74.4	73.5	80.3	50.4	66.7
	全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
中学校 第3学年	本県	78.1	69.1	67.8	44.9	58.2
	全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

(1)各教科の状況

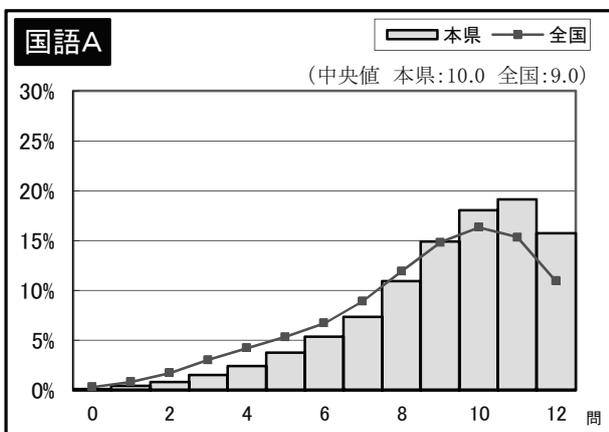
《小学校第6学年 国語》

国語A

- ☆ 平均正答率は全国を上回り、知識・技能の定着は基準に到達している。
- ☆ 慣用句の意味を理解して、使うことは良好である。
- ☆ 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.2 / 12 問	76 %	2.4
全国	8.5 / 12 問	70.7 %	2.7

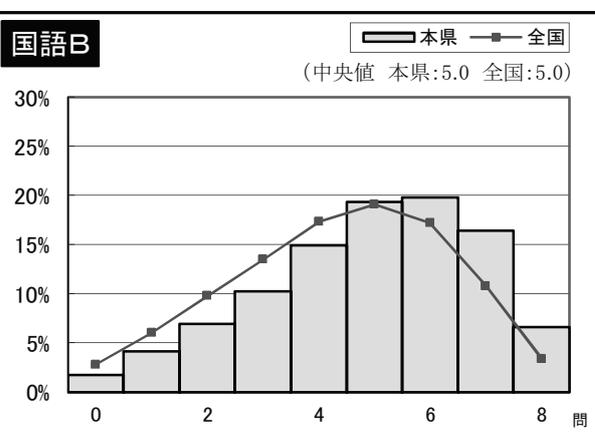
【正答数分布グラフ】



国語B

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回っているが、知識・技能を活用する力は十分とはいえない。
- ☆ 話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることは概ね良好である。
- ☆ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	4.9 / 8 問	61 %	1.9
全国	4.4 / 8 問	54.7 %	1.9



(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

【正答率の高い設問】

国語A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)	93.6	90.4
2 1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	93.0	90.8
3 8ウ	文の中で漢字を使う(しょう毒)	88.2	82.2

国語B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1一	【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する	87.6	82.5
2 1二	【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する	80.3	77.5
3 2三	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する	74.3	70.8

【正答率の低い設問】

国語A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 5	【春休みの出来事の一部】の中で、-- 部と一 部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	47.6	35.5
2 8才	文の中で漢字を使う(せつ極的)	58.7	51.4
3 7	【話を聞いている様子の一部】の、イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	63.7	56.0

国語B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2二	【おすすめする文章】の□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	22.9	13.5
2 1三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□を書く	40.8	33.8
3 3一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する	53.0	49.4

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

国語A

【領域等別の平均正答率】



[話すこと・聞くこと]

- ◎ : 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例を挙げながら筋道を立てて話すこと〔1〕

[書くこと]

- ◇ : 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること〔2〕

[読むこと]

- ◇ : 目的に応じて必要な情報を捉えること〔3〕
- ◇ : 登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること〔4〕

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- ◎ : 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うこと〔6〕
- ▼ : 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと〔5〕

国語B

[話すこと・聞くこと]

- : 話合いの参加者として、質問の意図を捉えること〔1一〕

[話すこと・聞くこと/書くこと]

- ▼ : 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること〔1三〕

[書くこと]

- ◇ : 推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉えること〔2三〕
- ▼ : 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと〔2二〕

[書くこと/読むこと]

- ▽ : 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと〔3二〕

[読むこと]

- ▼ : 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと〔3一〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語A

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	○					○				93.0	0.0	90.8	0.1
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する		○					○			77.4	0.1	73.8	0.3
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する			○					○		78.0	0.1	73.9	0.2
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する			○					○		77.6	0.1	74.0	0.3
5	【春休みの出来事の一部】の中で、一部と一部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す			○					○		47.6	1.5	35.5	3.9
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する(心を打たれる)			○					○		93.6	0.5	90.4	1.4
7	【話を聞いている様子の一部】のアイに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する			○					○		63.7	0.8	56.0	2.7
8ア	文の中で漢字を使う(せい造)			○					○		77.0	1.5	73.4	5.2
8イ	文の中で漢字を使う(せつ備)			○					○		87.2	1.9	82.2	6.3
8ウ	文の中で漢字を使う(しょう毒)			○					○		88.2	2.1	82.2	6.6
8エ	文の中で漢字を使う(かん理)			○					○		74.2	2.3	65.0	7.4
8オ	文の中で漢字を使う(せつ極的)			○					○		58.7	2.5	51.4	7.7

国語B

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	意欲・態度	国語への関心・	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語についての	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）
1一	【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する	○						○				87.6	0.1	82.5	0.4
1二	【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する	○						○				80.3	0.2	77.5	0.6
1三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、□を書く	○	○				○	○	○			40.8	4.7	33.8	6.2
2一	「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に□のように書いた理由として適切なものを選択する		○									66.4	0.6	57.6	1.7
2二	【おすすめする文章】の□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く		○				○		○			22.9	1.8	13.5	2.7
2三	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する		○						○			74.3	1.6	70.8	3.4
3一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する			○						○		53.0	0.9	49.4	3.2
3二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C 最も心がひかれた一文とその理由の文章の□に入る内容を書く		○	○			○		○	○		66.1	7.6	52.3	11.9

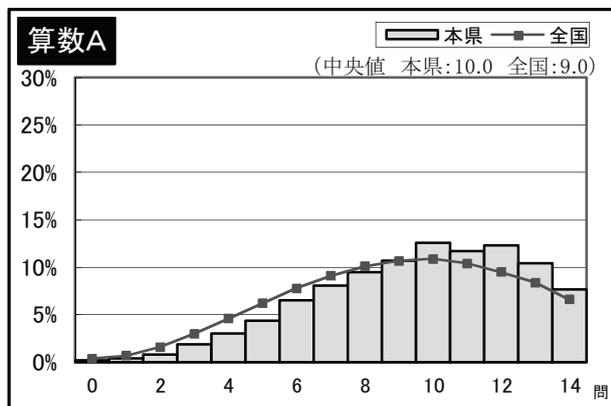
《小学校第6学年 算数》

算数A

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、知識・技能の定着は十分とはいえない。
- ☆ 180° の角の大きさの理解については良好である。
- ☆ 円周率の意味を理解することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.5 / 14 問	68 %	3.0
全国	8.9 / 14 問	63.5 %	3.2

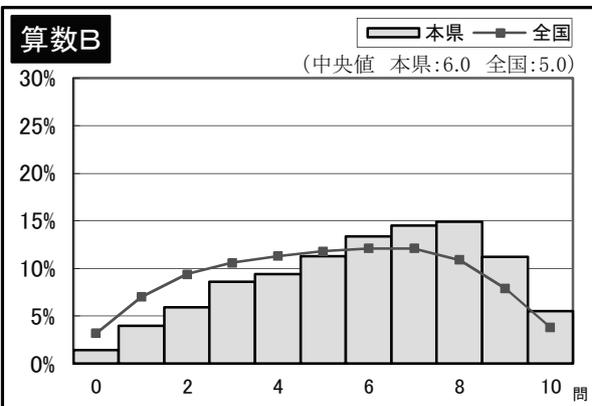
【正答数分布グラフ】



算数B

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、知識・技能を活用する力は不十分である。
- ☆ 複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈し記述することや複数のグラフから読み取ることができることを、適切に判断することに課題がある。
- ☆ 示された考え方を解釈し、複数の場合に適用して、条件に合う事柄について適切に判断し記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	5.9 / 10 問	59 %	2.5
全国	5.1 / 10 問	51.5 %	2.7



(横軸:正答数,縦軸:児童の割合)

【正答率の高い設問】

算数A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 5(1)	角(い)の角の大きさが、何度であるかを選ぶ	95.6	94.4
2 4(1)	面積がそろっている㊸と㊹の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	89.9	87.8
3 6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	79.8	73.5

算数B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	78.3	71.7
2 2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く	78.2	70.5
3 5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	71.9	66.5

【正答率の低い設問】

算数A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 7(1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	42.9	41.6
2 2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	46.3	39.9
3 4(2)	㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	51.6	50.1

算数B

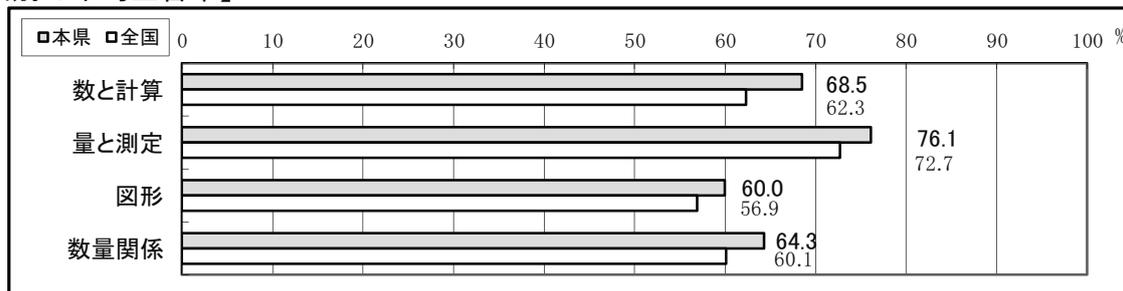
設問番号	設問の概要	本県	全国
1 3(2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	28.1	23.9
2 3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	28.6	20.7
3 2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	52.8	47.9

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

算数A

【領域別の平均正答率】



[数と計算]

- ◇ : 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すこと[1(2)]
- ▼ : 小数の除法の意味について理解すること[2]

[量と測定]

- ◎ : 180° の角の大きさについて理解すること[5(1)]
- : 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方について理解すること[4(1)]

[図形]

- ◇ : 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現すること[6]
- ▼ : 円周率の意味について理解すること[7(1)]

[数量関係]

- ◇ : 1に当たる大きさを求める問題場面において、除数が小数である場合でも除法を用いることについて理解すること[1(3)]
- ◇ : 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること[9]

算数B

[物事を数・量・図形などに着目し観察し的確に捉えること]

- ◇ : 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすこと[1(1)]
- ◇ : 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現すること[4(1)]

[与えられた情報を分類整理したり必要なものを適切に選択したりすること]

- ◇ : 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断すること[5(2)]
- ▼ : 示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断すること[2(2)]

[筋道を立てて考えたり振り返って考えたりすること]

- ◇ : 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めること[2(1)]
- ▼ : 棒グラフと帯グラフから読み取ることができていることを、適切に判断すること[3(2)]

[事象を数学的に解釈したり自分の考えを数学的に表現したりすること]

- ◇ : 示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述すること[4(2)]
- ▼ : メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述すること[3(1)]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

算数A

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	意欲・態度	算数への関心・数学的な考え方	の技能	の知識・理解について	の数量や図形について	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	○			○				○	67.2	0.9	62.9	1.7
1(2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	○						○		79.3	0.8	66.7	2.4
1(3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	○			○				○	70.0	1.1	65.3	2.2
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	○							○	46.3	0.5	39.9	1.0
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	○							○	79.6	0.8	76.4	1.3
4(1)	面積がそろっている㊸と㊹の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ		○						○	89.9	0.3	87.8	0.6
4(2)	㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ		○						○	51.6	0.6	50.1	1.0
5(1)	角(い)の角の大きさが、何度であるかを選ぶ		○						○	95.6	0.5	94.4	1.1
5(2)	分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさを求める		○					○		67.4	0.8	58.5	1.5
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く			○				○		79.8	1.7	73.5	3.3
7(1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ			○					○	42.9	1.2	41.6	3.2
7(2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ			○	○				○	57.3	1.3	55.6	3.6
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ				○			○		55.3	1.8	52.9	4.6
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ				○			○		71.9	2.9	63.6	7.2

算数B

設問番号	設問の概要	領域			評価の観点				本県		全国		
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	の技能	の知識・理解	数量や図形について	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ			○					○	78.3	0.1	71.7	0.3
1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く		○	○				○		59.2	8.6	48.2	14.4
2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く	○	○		○					78.2	0.8	70.5	1.5
2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	○	○		○					52.8	1.2	47.9	1.6
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く				○			○		28.6	11.5	20.7	18.0
3(2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ				○			○		28.1	0.6	23.9	1.1
4(1)	「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	○			○			○		70.7	3.9	62.7	6.2
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	○						○		70.9	6.5	59.5	11.3
5(1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	○	○					○		53.6	11.4	43.2	16.6
5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	○						○		71.9	4.4	66.5	8.3

《小学校第6学年 理科》

理科

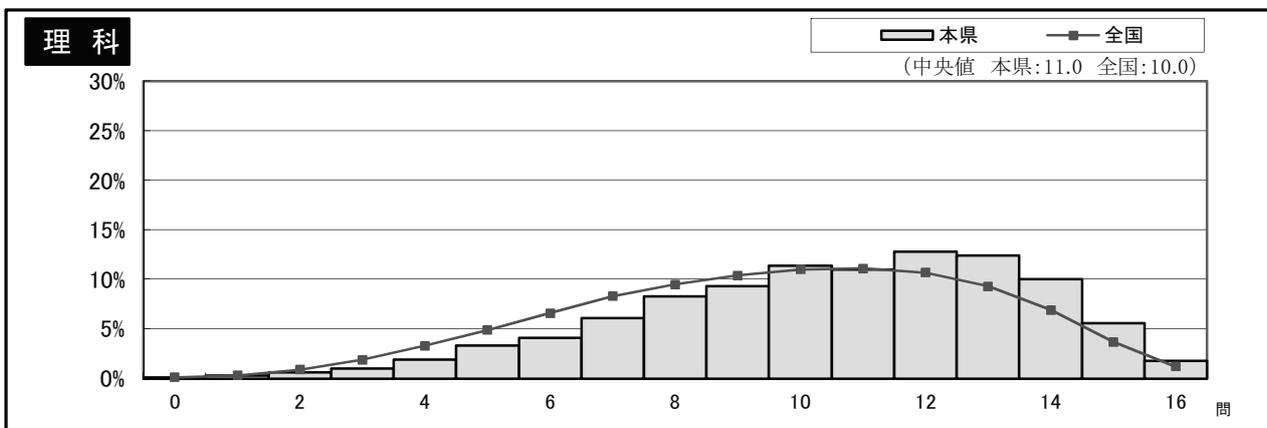
☆ 平均正答率は、全国平均を上回り、主として「知識」に関する問題については概ね良好であるが、主として「活用」に関する問題については十分とはいえない。

☆ 科学的な言葉や概念について理解することは概ね良好である。

☆ 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することや実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.5 / 16 問	66 %	3.1
全国	9.6 / 16 問	60.3 %	3.2

【正答数分布グラフ】



(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

【知識に関する設問の正答率】

理科「知識」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2(1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	91.1	83.6
2 1(3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	88.6	79.4
3 4(1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ	71.7	71.1

【活用に関する正答率の高い設問】

理科「活用」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 4(2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	90.9	89.4
2 1(1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	85.3	82.1
3 1(2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	80.8	76.2

【活用に関する正答率の低い設問】

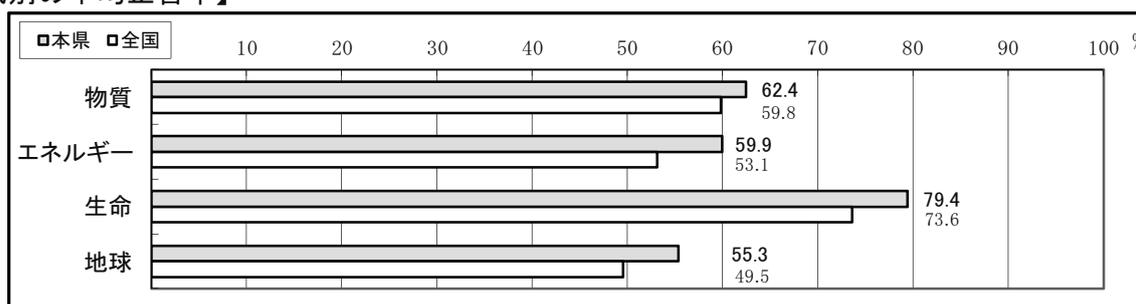
理科「活用」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2(3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	27.1	20.1
2 4(4)	食塩水を熱したときの蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	42.8	35.9
3 4(3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	44.2	42.7

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域別の平均正答率】



理科「知識」

[物質]

- ◇ : ろ過の適切な操作方法を身に付けること[4(1)]

[生命]

- : 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること[1(3)]

[地球]

- ◎ : 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること[2(1)]

理科「活用」

[物質]

- ◎ : より妥当な考えをつくり出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察すること[4(2)]
- ▼ : 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること[4(4)]

[エネルギー]

- ◇ : 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用すること[3(1)]
- ▼ : 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること[3(2)]

[生命]

- : 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想すること[1(1)]
- ▽ : 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること[1(4)]

[地球]

- ▽ : 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること[2(2)]
- ▼ : より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること[2(3)]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

理科

: 正答率が全国より高い

: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	主として「活用」に関する問題 主として「知識」に関する問題	領域				評価の観点				本県		全国	
			物質	エネルギー	生命	地球	関心・意欲・態度	自然科学への関心	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				85.3	0.0	82.1	0.0
1(2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				80.8	0.0	76.2	0.1
1(3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		88.6	1.5	79.4	3.8
1(4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				63.1	0.2	56.6	0.4
2(1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		91.1	0.1	83.6	0.1
2(2)	流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				63.1	0.1	55.4	0.3
2(3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				27.1	0.4	20.1	1.0
2(4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				61.2	0.2	59.8	0.3
3(1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				70.7	0.1	63.5	0.3
3(2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				56.9	0.1	47.7	0.5
3(3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>				65.6	0.2	59.4	0.6
3(4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中の光電池の適切な位置や向きを選ぶ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				46.6	0.2	41.9	0.6
4(1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>		71.7	0.2	71.1	0.5
4(2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>			90.9	0.2	89.4	0.6
4(3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>			44.2	0.6	42.7	1.3
4(4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			42.8	4.9	35.9	8.9

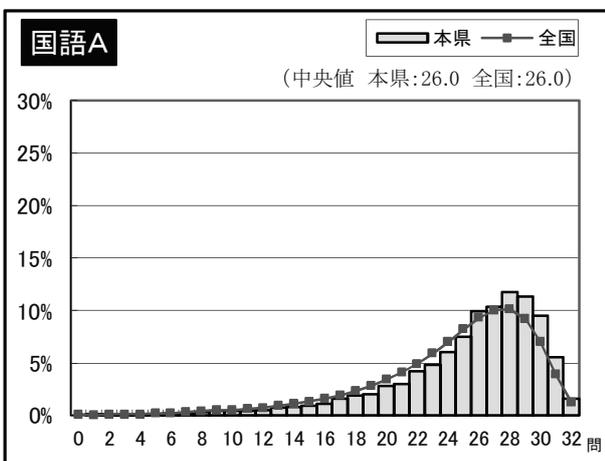
《中学校第3学年 国語》

国語A

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、知識・技能の定着は基準に到達している。
- ☆ 書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することは良好である。
- ☆ 語句の意味を理解して文脈の中で適切に使ったり、目的に応じて文の成分の照応等を考えて適切な文を書いたりすることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	25.3 / 32 問	79 %	5.0
全国	24.3 / 32 問	76.1 %	5.3

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

国語A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 8二3	漢字を読む(技を磨く)	98.6	98.1
2 8二2	漢字を読む(池の水が速る)	98.3	97.8
3 8二1	漢字を読む(模型を作る)	97.2	95.7

【正答率の低い設問】

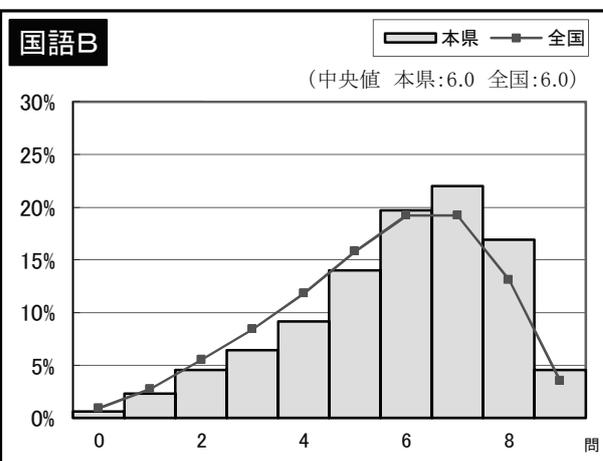
国語A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	27.4	22.3
2 8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)	27.7	29.2
3 5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したのとして適切なものを選択する	62.8	59.5

国語B

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、知識・技能を活用する力は十分とはいえない。
- ☆ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することは良好である。
- ☆ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	5.8 / 9 問	65 %	2.0
全国	5.5 / 9 問	61.2 %	2.0



(横軸: 正答数, 縦軸: 生徒の割合)

国語B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2二	二人に続いてする質問を書く	90.4	88.3
2 2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	89.3	86.8
3 3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	83.4	80.2

国語B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	14.3	13.3
2 1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	50.7	45.9
3 3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	53.7	49.2

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

国語A

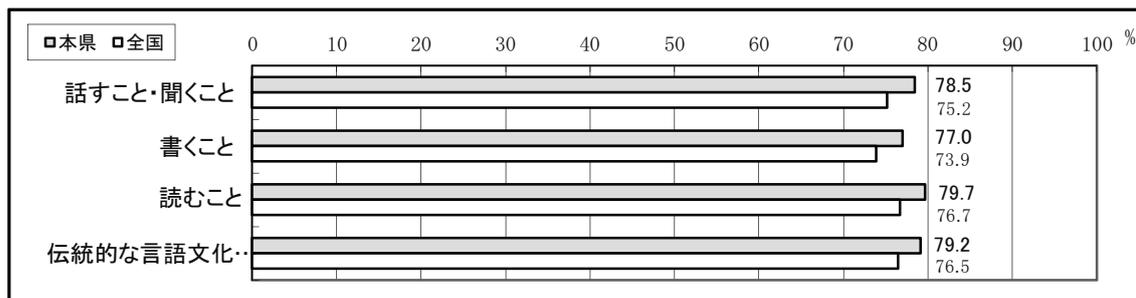
設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	8三エ 適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)	27.7	29.2	-1.5

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

国語A

【領域等別の平均正答率】



【話すこと・聞くこと】

- ◎ : 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと [1一]
- ▼ : 話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと [6二]

【書くこと】

- ◎ : 書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成すること [2一]
- ▼ : 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討すること [4一]

【読むこと】

- : 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること [3二]
- : 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てること [5一]

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◇ : 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと [8三]
- ▼ : 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと [8四2]

国語B

【話すこと・聞くこと】

- ◎ : 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問すること [2二]

【読むこと】

- : 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること [3一]
- ◇ : 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること [3二]

【書くこと/読むこと】

- ▼ : 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと [1三]

【書くこと/読むこと/伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ▼ : 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと [3三]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語A

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	○					○				90.6	0.0	87.4	0.1
2一	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する		○					○			91.7	0.2	89.5	0.3
2二	二つの意見の内容を一文で書き加える		○					○			66.4	2.2	64.0	3.3
3一	「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する			○					○		89.3	0.1	88.2	0.2
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する			○					○		85.5	0.2	82.8	0.2
4一	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する		○					○			66.8	0.1	62.8	0.2
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する		○					○			83.0	0.2	79.4	0.3
5一	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する			○					○		81.1	0.4	76.3	0.5
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する			○					○		62.8	0.3	59.5	0.4
6一	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	○					○				76.8	0.5	72.4	0.5
6二	話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	○					○				68.0	11.2	65.8	13.3
7一	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)			○					○		89.9	0.6	87.3	0.6
7二	「それでは」の働きとして適切なものを選択する			○					○		89.3	0.8	88.4	0.9
8一1	漢字を書く(紙をひもで タ バねる)			○					○		82.7	9.3	79.0	13.2
8一2	漢字を書く(舞台の マ クが上がる)			○					○		78.8	9.3	72.9	14.4
8一3	漢字を書く(先制点を ユ ルす)			○					○		75.5	15.0	71.4	19.5
8二1	漢字を読む(模型を作る)			○					○		97.2	1.2	95.7	1.9
8二2	漢字を読む(池の水が 凍 る)			○					○		98.3	0.7	97.8	0.9
8二3	漢字を読む(技を 磨 く)			○					○		98.6	0.8	98.1	1.1
8三ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)			○					○		78.7	0.5	77.7	0.8
8三イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)			○					○		91.8	0.4	91.0	0.5

8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)				○					○	89.8	0.5	88.0	0.6
8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)				○					○	27.7	0.7	29.2	0.9
8三オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)				○					○	68.6	0.7	61.8	0.9
8三カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)				○					○	68.2	0.8	65.4	1.0
8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)				○					○	95.8	0.9	95.2	1.0
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する				○					○	95.3	0.7	94.7	0.8
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く				○					○	27.4	5.2	22.3	6.5
8五	作品への助言として適切なものを選択する				○					○	64.8	1.1	54.4	1.2
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)				○					○	93.0	4.1	91.1	5.1
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)				○					○	68.6	5.8	63.0	7.4
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する				○					○	84.3	1.9	81.3	2.2

国語B

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する			○					○		50.7	0.1	45.9	0.2
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する			○					○		68.6	0.1	64.3	0.2
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く		○	○		○		○			14.3	5.5	13.3	7.0
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	○							○		89.3	0.1	86.8	0.2
2二	二人に続いてする質問を書く	○				○	○				90.4	4.6	88.3	5.9
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	○						○			62.7	0.3	54.6	0.4
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する			○					○		83.4	0.2	80.2	0.4
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する			○					○		71.6	0.3	68.2	0.4
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く		○	○	○	○		○	○		53.7	10.7	49.2	12.4

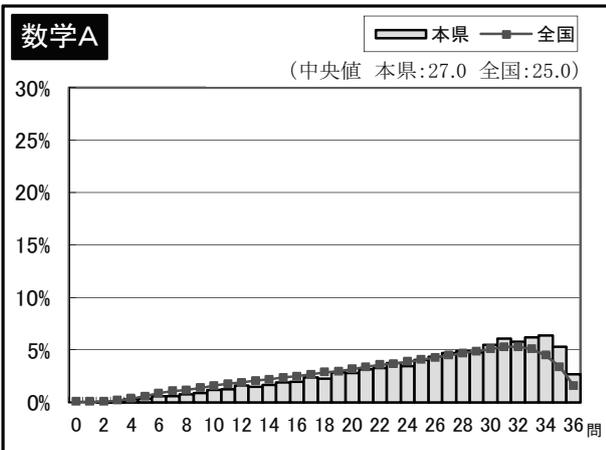
《中学校第3学年 数学》

数学A

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、知識・技能の定着は基準に到達している。
- ☆ 簡単な比例式を解くことは良好である。
- ☆ 一次関数の意味を理解することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	25.4 / 36 問	71 %	7.7
全国	23.8 / 36 問	66.1 %	8.1

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

数学A

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1(1)	数直線上の点が表示負の整数の値を読み取る	95.9	94.6
2 2(2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	91.9	91.0
3 3(2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	91.2	87.8

【正答率の低い設問】

数学A

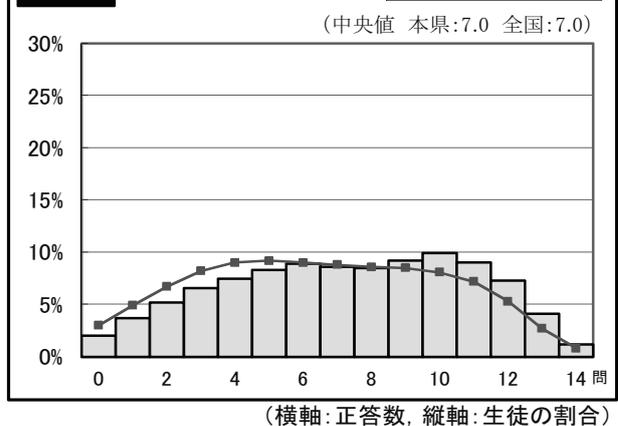
設問番号	設問の概要	本県	全国
1 12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	37.4	36.4
2 15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	44.1	40.2
3 2(4)	等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、 a について解く	50.2	48.2

数学B

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、知識・技能を活用する力は不十分である。
- ☆ グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することは概ね良好である。
- ☆ 問題解決の方法や、成り立つ事柄の理由について、数学的に説明することに依然として課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	7.3 / 14 問	52 %	3.5
全国	6.6 / 14 問	46.9 %	3.5

数学B



数学B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2(1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	91.0	89.5
2 3(2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	83.0	77.7
3 2(3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	74.3	68.3

数学B

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 5(2)	通常料金を a としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	14.1	10.4
2 5(1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	18.1	16.0
3 3(3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	19.2	13.2

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

数学A

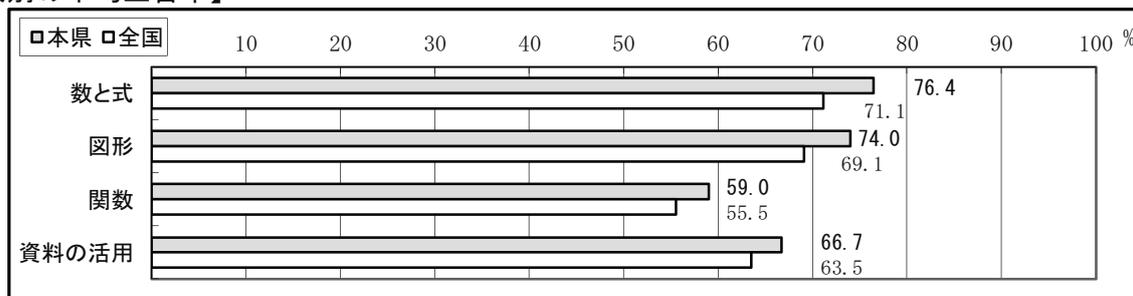
設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1 4(1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	65.2	67.1	-1.9

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

数学A

【領域別の平均正答率】



[数と式]

- ◎ : 簡単な比例式を解くこと〔3(2)〕
- : 絶対値の意味を理解すること〔1(2)〕
- ▼ : 具体的な場面で関係を表す式を, 等式の性質を用いて, 目的に応じて変形すること〔2(4)〕

[図形]

- : 見取図, 投影図から空間図形を読み取ること〔5(3)〕
- ▽ : ひし形は, 線対称な図形であり, 点対称な図形でもあることを理解すること〔4(1)〕
- ▼ : 証明の必要性和意味を理解すること〔8〕

[関数]

- ◇ : 比例 $y=ax$ における比例定数 a の意味を理解すること〔9(1)〕
- ▼ : 一次関数 $y=ax+b$ について, x の値の増加に伴う y の増加量を求めること〔11(1)〕
- ▼ : 一次関数の意味を理解すること〔12〕

[資料の活用]

- ◇ : 与えられた資料から中央値を求めること〔14(2)〕
- ▼ : 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解すること〔15(1)〕

数学B

[知識・技能などを実生活の様々な場面で活用する力 α]

- ◎ : 問題場面における考察の対象を明確に捉えること〔2(1)〕
- ◇ : 3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現すること〔2(3)〕
- ▼ : 与えられた情報から必要な情報を選択し, 的確に処理すること〔1(1), 5(1)〕
- ▼ : 事象を数学的に解釈し, 問題解決の方法を数学的に説明すること〔3(3)〕

[様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 β]

- ▼ : 事柄が成り立つ理由を, 構想を立てて説明すること〔2(2)〕
- ▼ : 証明を振り返り, 証明した事柄を基にして, 新たな性質を見いだすこと〔4(1)〕

[$\alpha \cdot \beta$ の両方に関わる力 γ]

- ▼ : 付加された条件の下で, 新たな事柄を見だし, 説明すること〔4(3)〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

数学A

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	態度	数学への関心・意欲・	数学的な見方や考え	数学的な技能	数量や図形などについて	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	○						○		95.9	0.2	94.6	0.4
1(2)	絶対値が6である数を書く	○						○		86.7	2.1	69.0	7.3
1(3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	○						○		76.0	0.5	68.9	1.0
1(4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	○						○		59.9	0.1	54.2	0.1
2(1)	「1個 a kgの荷物3個と1個 b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	○						○		55.5	5.3	41.5	8.5
2(2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	○						○		91.9	2.1	91.0	2.4
2(3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	○						○		82.3	3.5	78.5	4.8
2(4)	等式 $S=1/2 ah$ を, a について解く	○						○		50.2	12.7	48.2	15.3
3(1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	○						○		66.4	0.4	64.0	0.6
3(2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	○						○		91.2	3.2	87.8	5.0
3(3)	連立二元一次方程式($5x-2y=10, 3x-2y=2$)を解く	○						○		82.3	3.9	80.0	4.6
3(4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び, 式で表す	○						○		77.9	0.4	75.2	0.6
4(1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ		○					○*		65.2	0.3	67.1	0.3
4(2)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ		○					○		59.2	0.7	54.9	0.8
4(3)	長方形ABCDを, 点Aを中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形をかく		○					○		71.0	3.2	66.1	4.4
5(1)	直方体において, 与えられた面に平行な辺を書く	○						○		83.1	0.8	74.3	1.4
5(2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く		○					○		87.2	1.6	82.4	2.9
5(3)	与えられた円柱の見取図から, その円柱の投影図を選ぶ		○					○		89.9	0.1	83.7	0.3
5(4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について, 正しいものを選ぶ		○					○		65.4	0.3	57.6	0.5
6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ		○					○		74.6	0.2	71.4	0.4
6(2)	五角形の1つの頂点を動かし, 角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ		○					○		80.4	0.2	75.7	0.4
7(1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として, 正しいものを選ぶ		○					○		76.2	0.3	72.0	0.5
7(2)	長方形で成り立ち, ひし形でも成り立つことを選ぶ		○					○		81.6	0.3	78.2	0.5
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ		○					○		53.6	0.3	45.5	0.6
9(1)	比例 $y=5x$ について, 正しい記述を選ぶ			○				○		70.6	1.0	65.5	1.2
9(2)	比例のグラフから, xの変域に対応するyの変域を求める			○				○		61.7	10.2	55.0	13.0
9(3)	反比例のグラフから表を選ぶ			○				○		56.6	1.1	52.8	1.4
10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す			○				○		71.9	2.6	69.9	2.9

11(1)	一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める									○					51.0	11.5	45.3	14.8	
11(2)	一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ														○	57.9	0.7	56.3	0.9
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ														○	37.4	0.8	36.4	1.0
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ														○	64.8	1.5	62.7	1.9
14(1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ														○	71.1	1.0	68.4	1.4
14(2)	反復横とびの記録の中央値を求める														○	77.6	3.7	74.0	4.6
15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ														○	44.1	1.4	40.2	1.8
15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める														○	74.2	7.7	71.3	9.7

*評価の観点は、数量や図形についての知識・理解(小学校)に対応させている。

数学B

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国		
		数と式	図形	関数	資料の活用	態度	数学への関心・意欲・	数学的な見方や考え	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める				○					○*	63.1	8.3	55.7	11.1
1(2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める				○					○	50.7	4.7	43.9	7.0
1(3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明する				○			○			42.6	18.3	36.2	24.9
2(1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	○								○	91.0	3.2	89.5	4.4
2(2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	○								○	44.6	22.0	37.5	25.0
2(3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	○								○	74.3	0.8	68.3	1.1
3(1)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ			○						○	70.6	0.3	67.6	0.5
3(2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める			○						○	83.0	5.2	77.7	6.9
3(3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Eが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する			○						○	19.2	25.2	13.2	33.4
4(1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ		○							○	59.2	0.5	55.4	0.7
4(2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する		○							○	47.8	4.4	42.4	6.2
4(3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する		○							○	47.3	20.9	42.3	24.6
5(1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く				○					○*	18.1	19.0	16.0	24.1
5(2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	○								○	14.1	6.8	10.4	6.6

*評価の観点は、数量や図形に関する技能(小学校)に対応させている。

《中学校第3学年 理科》

理科

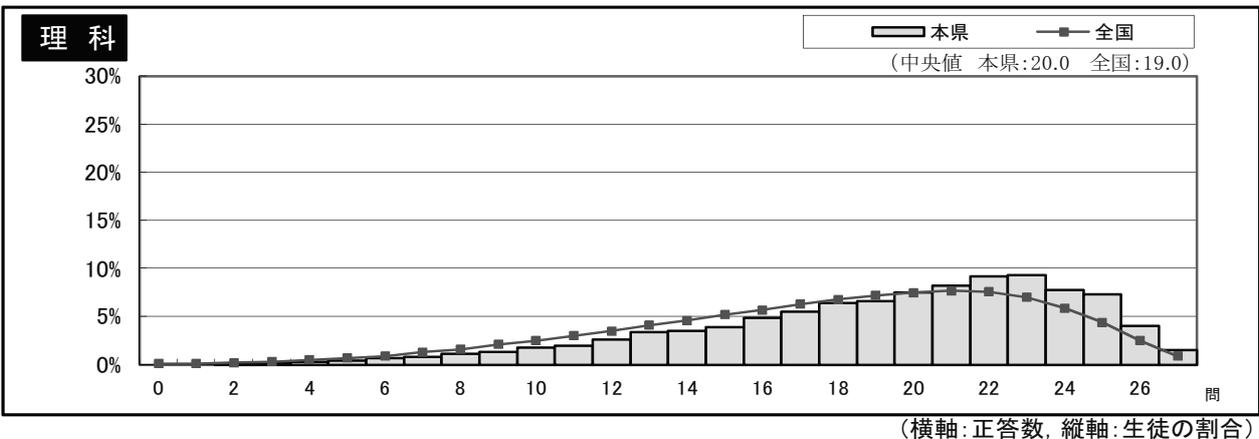
☆ 平均正答率は、全国平均をやや上回り、主として「知識」に関する問題については基準に到達しているが、主として「活用」に関する問題については十分とはいえない。

☆ 観察や実験の結果などを分析して解釈することは概ね良好である。

☆ 自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	19.2 / 27 問	71 %	5.0
全国	17.9 / 27 問	66.1 %	5.2

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

理科「知識」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 9(1)	蒸散に関する知識をみる	93.2	88.0
2 8(1)	化学変化と熱についての知識をみる	88.0	83.5
3 6(2) 電流	電流・電圧と抵抗との関係に関する知識をみる	81.3	77.2

理科「活用」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 7(3)	地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	95.5	94.4
2 6(3)	電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	93.2	91.4
3 2(1)	無脊椎動物に関する知識を活用できるかどうかをみる	87.4	86.2

【正答率の低い設問】

理科「知識」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2(2) 3.0%の濃度	水溶液の濃さに関する知識をみる	59.1	46.9
2 6(2) 抵抗	電流・電圧と抵抗との関係に関する知識をみる	60.0	51.9
3 7(1)	地震の揺れや揺れの強さに関する知識をみる	62.4	55.1

理科「活用」

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 9(2)	蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	21.2	19.4
2 3(1)	台風の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	39.7	37.5
3 4(2)	実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	52.8	44.1

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

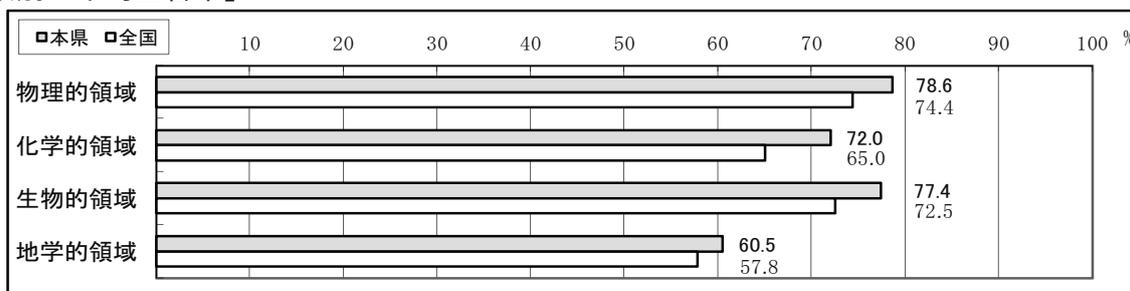
理科「知識」

設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	3(2) 日本の天気の特徴に関する知識をみる	64.3	67.3	-3.0

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域別の平均正答率】



理科「知識」

第 1 分野（物理的領域）

- ： 実験の結果を示した表から電流の値を読み取ること〔6(2)電流〕
- ▽： オームの法則を使って、抵抗の値を求めること〔6(2)抵抗〕

第 1 分野（化学的領域）

- ： 濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘すること〔2(2)低い濃度〕
- ▼： 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘すること〔2(2)3.0%の濃度〕

第 2 分野（生物的領域）

- ◎： 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けること〔9(1)〕
- ▽： 神経系の働きについての知識を身に付けること〔5(1)〕

第 2 分野（地学的領域）

- ▽： 太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付けること〔3(2)〕
- ▽： 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けること〔7(1)〕

理科「活用」

第 1 分野（物理的領域）

- ◎： 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用すること〔7(3)〕
- ▽： 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用すること〔1(1)〕

第 1 分野（化学的領域）

- ◇： アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな疑問をもち問題を見いだすこと〔8(3)〕
- ▼： 炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘すること〔4(2)〕

第 2 分野（生物的領域）

- ： 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用すること〔2(1)〕
- ▽： 1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘すること〔2(4)〕

第 2 分野（地学的領域）

- ▼： 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用すること〔3(1)〕
- ▼： 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘すること〔9(2)〕

【各設問の正答率等】

理科

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	領域				評価の観点				本県		全国	
				物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域	意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○	○					○			66.2	0.1	61.7	0.1	
1(2)		○	○					○			77.5	0.1	73.7	0.2	
2(1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用することができるかどうかをみる	○						○			87.4	0.1	86.2	0.1	
2(2) 低い濃度		○							○		80.9	0.9	76.5	1.2	
2(2) 3.0%の濃度		○							○		59.1	0.9	46.9	1.3	
2(3)		○							○		83.8	0.1	79.7	0.2	
2(4)		○							○		63.8	7.1	61.3	9.5	
3(1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○						○			39.7	0.1	37.5	0.2	
3(2)		○							○		64.3	0.3	67.3	0.4	
3(3)		○							○		58.6	5.6	52.3	7.9	
4(1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○							○		77.8	0.2	73.4	0.4	
4(2)		○							○		52.8	10.8	44.1	15.5	
4(3)		○							○		62.6	10.2	49.4	16.2	

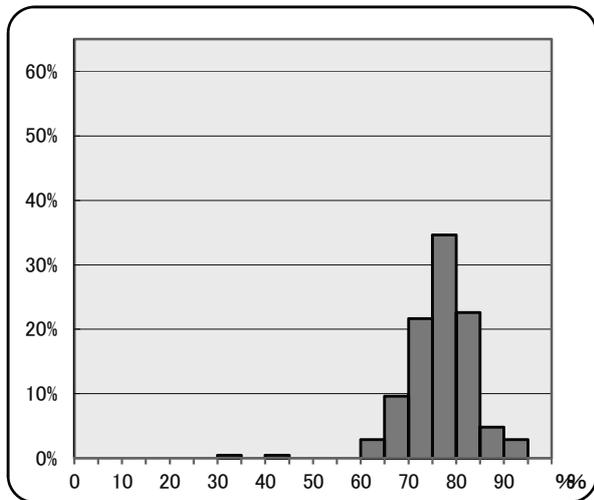
5(1)	「運転中の運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○								○	67.8	4.9	57.2	7.1	
5(2)		○								○	68.4	0.4	62.8	0.5	
6(1)		○	○							○	○	76.5	0.3	70.5	0.4
6(2) 電流	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○	○							○		81.3	8.8	77.2	11.6
6(2) 抵抗		○	○							○		60.0	11.1	51.9	14.6
6(3)			○	○						○		93.2	0.5	91.4	0.6
7(1)		○								○		62.4	0.3	55.1	0.4
7(2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる		○							○		82.0	0.4	78.5	0.5
7(3)			○	○						○		95.5	2.6	94.4	3.6
8(1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる。また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	○								○		88.0	0.5	83.5	0.6
8(2)			○	○						○		76.7	0.5	72.0	0.6
8(3)			○	○						○	○	77.9	16.5	74.0	20.3
9(1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	○								○		93.2	0.6	88.0	0.6
9(2)			○							○		21.2	16.3	19.4	21.4

(2) 学校の分布状況

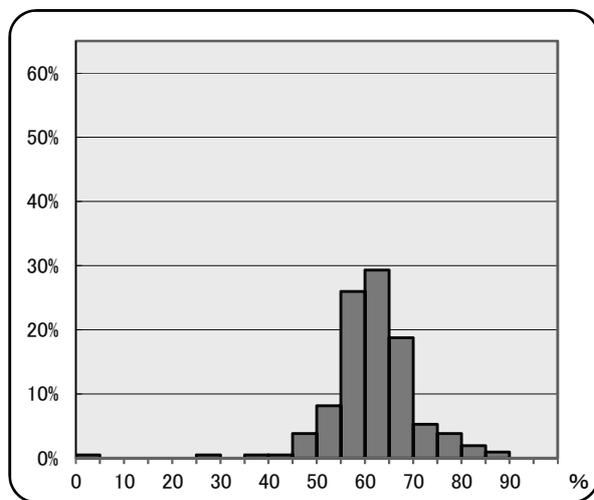
《公立小学校第6学年》

学校数	208校
-----	------

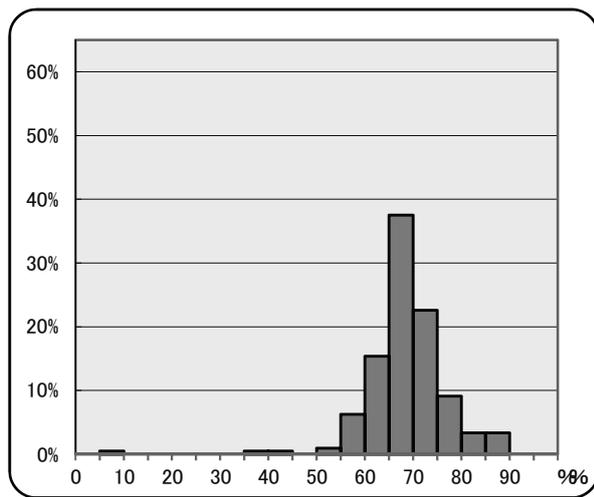
国語A



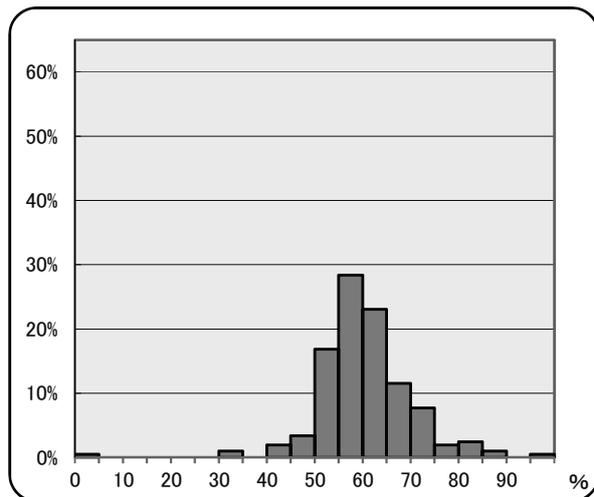
国語B



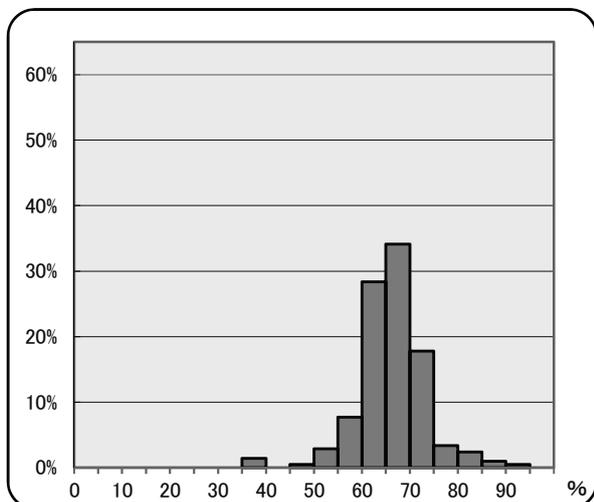
算数A



算数B



理科

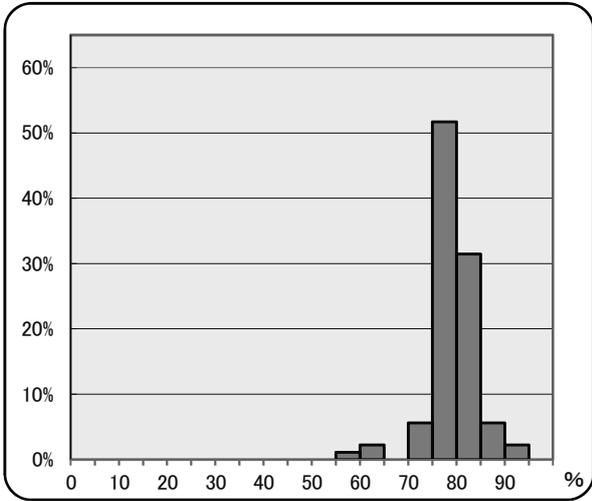


(横軸:学校の平均正答率 縦軸:学校数の割合)

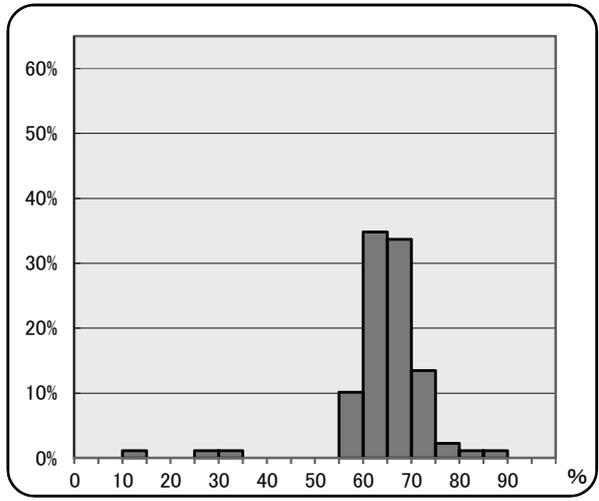
《公立中学校第3学年》

学校数	89校
-----	-----

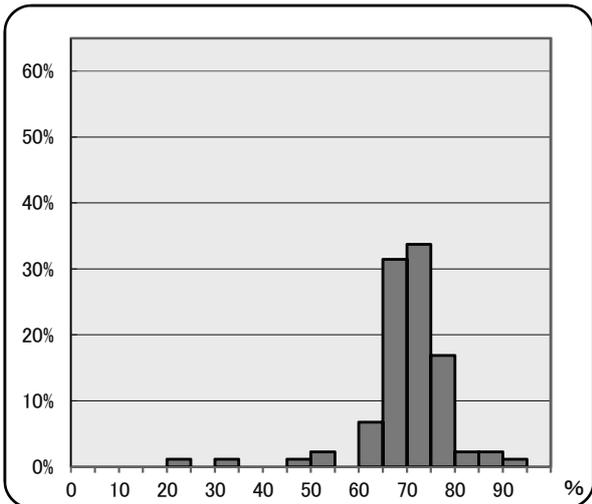
国語A



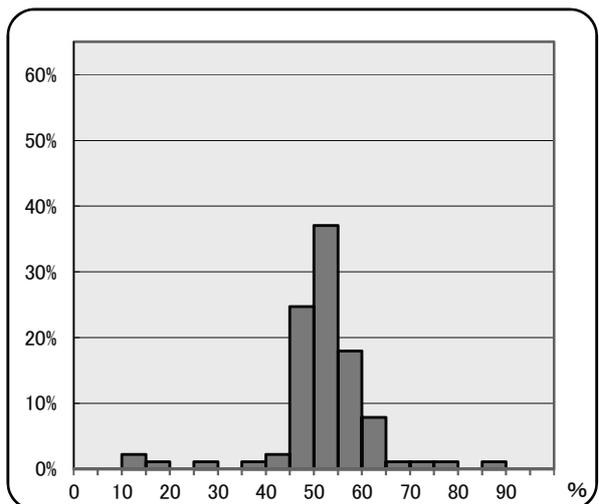
国語B



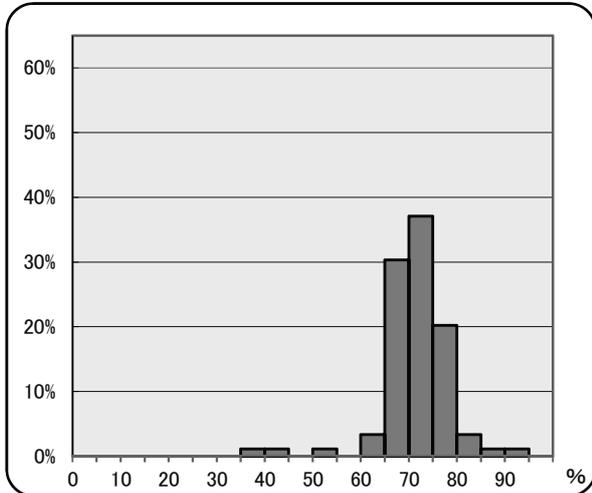
数学A



数学B



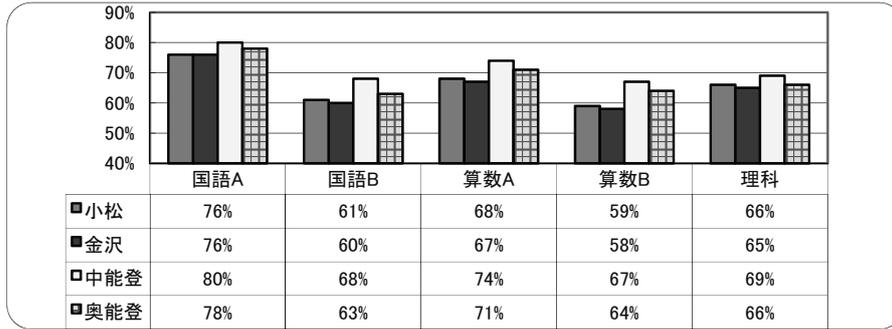
理科



(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

(3) 各教育事務所の状況

〔小学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。
本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
小松市	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
能美市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
野々市市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
金沢市	国語ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
内灘町	国語Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

【中能登教育事務所管内】

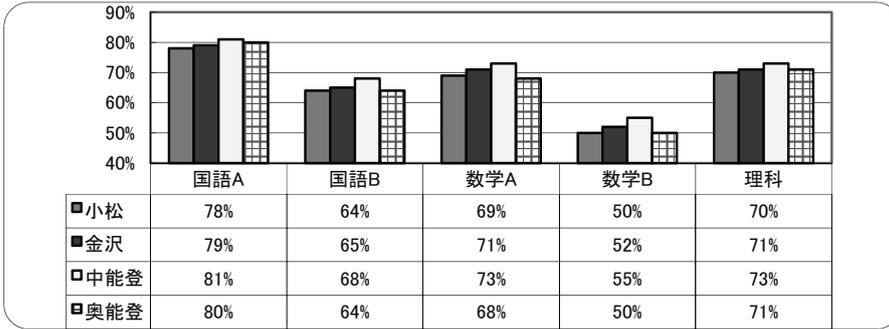
宝達志水町	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 算数ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。
志賀町	国語Aは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、県の平均正答率を上回る。 算数Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。算数Bは、県の平均正答率を上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
羽咋市	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 算数ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。
中能登町	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 算数ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
七尾市	国語ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。算数Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。算数Bは、県の平均正答率を上回る。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
穴水町	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 算数ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。
輪島市	国語ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。算数Bは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
珠洲市	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

※表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、±5%以上(以下)は上回る(下回る)、±2%以上(以下)～±5%未満はやや上回る(やや下回る)、±2%未満は同程度。

〔中学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。
 本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学Aは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。数学Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
小松市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。数学Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
能美市	国語Aは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。国語Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
川北町	国語Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。国語Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語ABともに、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。数学Bは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
金沢市	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語ABともに、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。数学Bは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 理科は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
内灘町	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。数学Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
かほく市	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町	国語Aは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。国語Bは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学ABともに、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
志賀町	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
羽咋市	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 数学ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。
中能登町	国語ABともに、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。数学Bは、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
七尾市	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

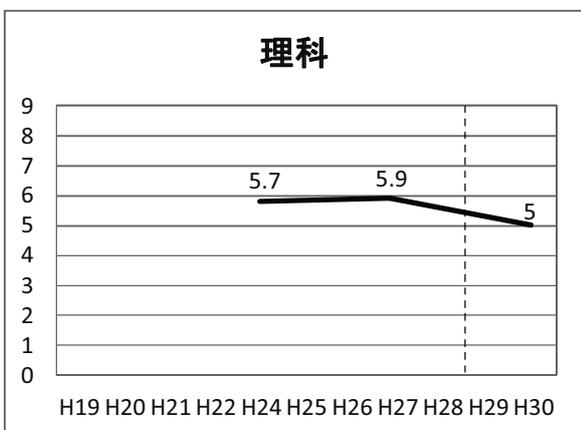
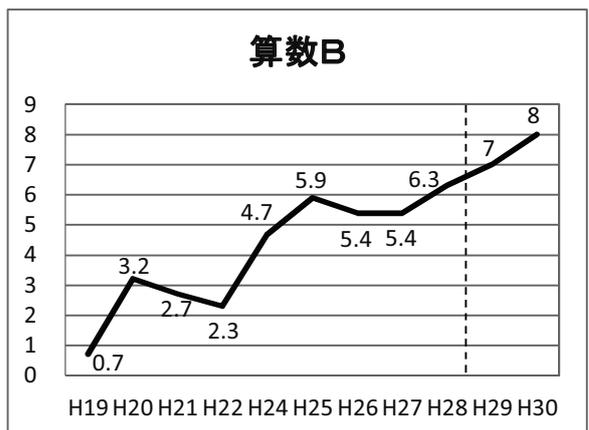
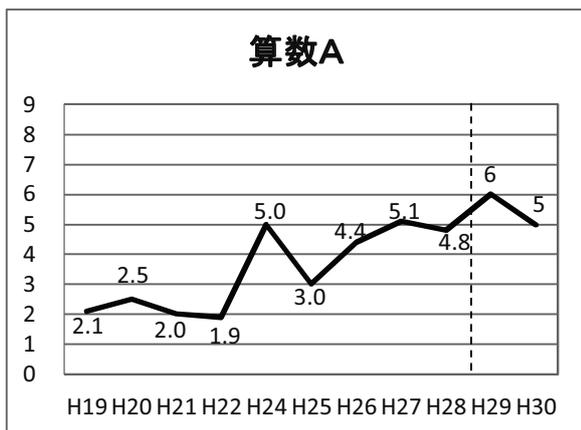
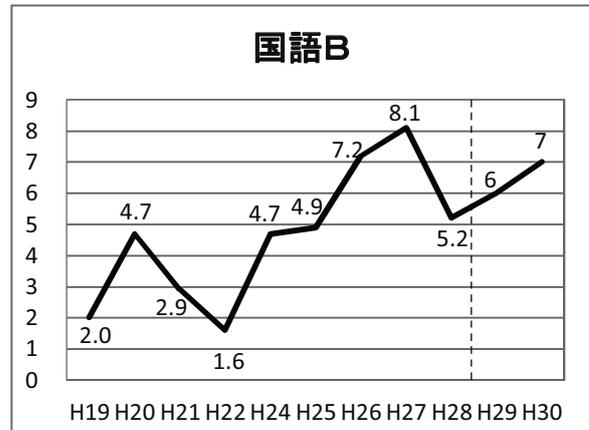
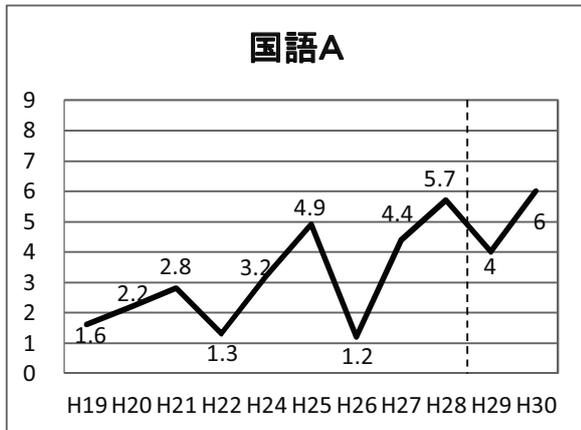
【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学Aは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。数学Bは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
穴水町	国語ABともに、県の平均正答率を上回る。 数学ABともに、県の平均正答率を上回る。 理科は、県の平均正答率を上回る。
輪島市	国語Aは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。国語Bは、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。 数学ABともに、国の平均正答率を下回る。 理科は、国の平均正答率と同程度が、県の平均正答率を下回る。
珠洲市	国語Aは、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。国語Bは、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学ABともに、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 理科は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

※表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、±5%以上(以下)は上回る(下回る)、±2%以上(以下)～±5%未満はやや上回る(やや下回る)、±2%未満は同程度。

(4) 平均正答率の全国との差の変動(国語、算数・数学、理科)

小学校

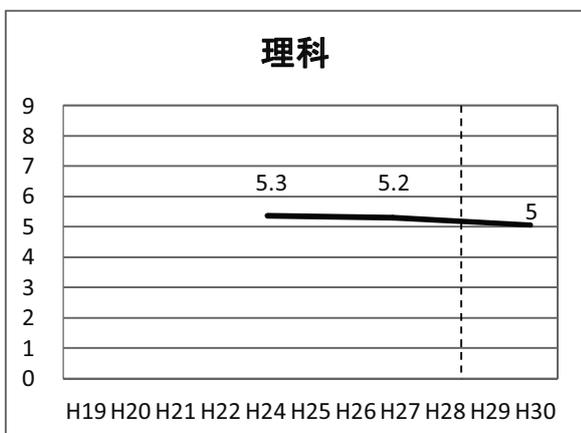
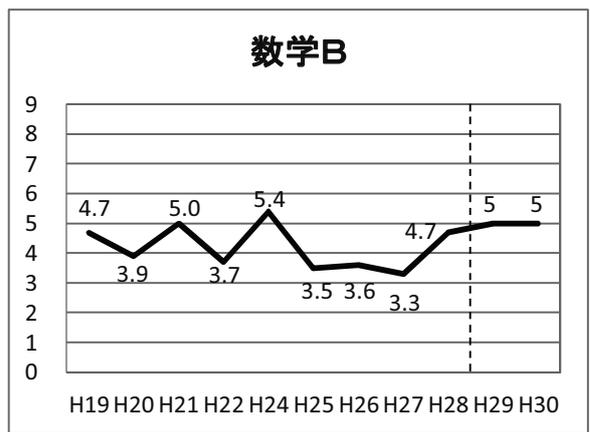
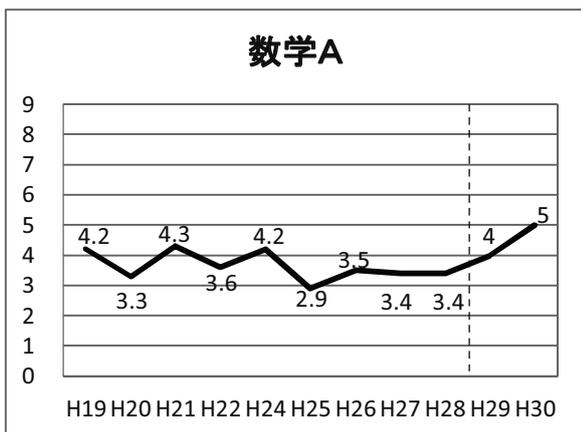
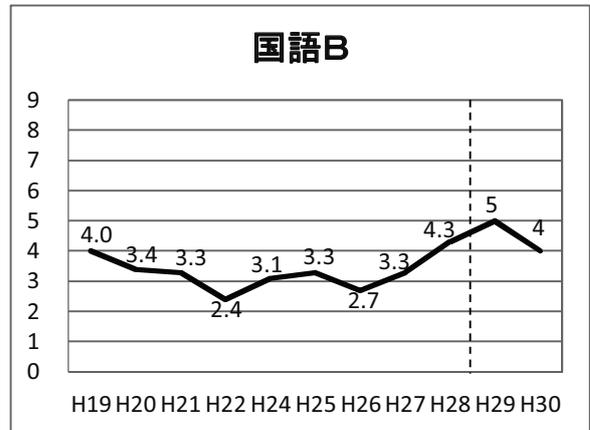
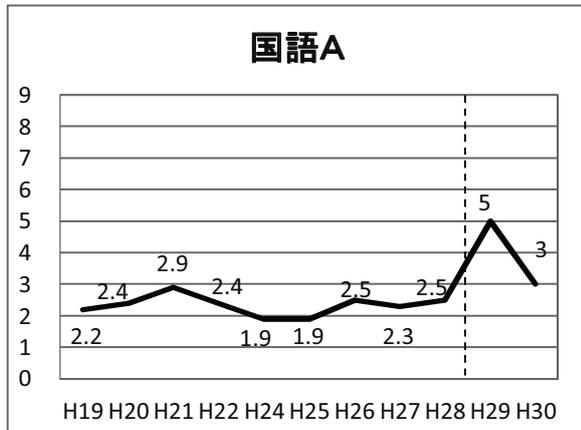


(横軸:年度 縦軸:%)

※平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国、県、それぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。

※悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)

中学校



(横軸:年度 縦軸:%)

※平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国、県、それぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。

※悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)

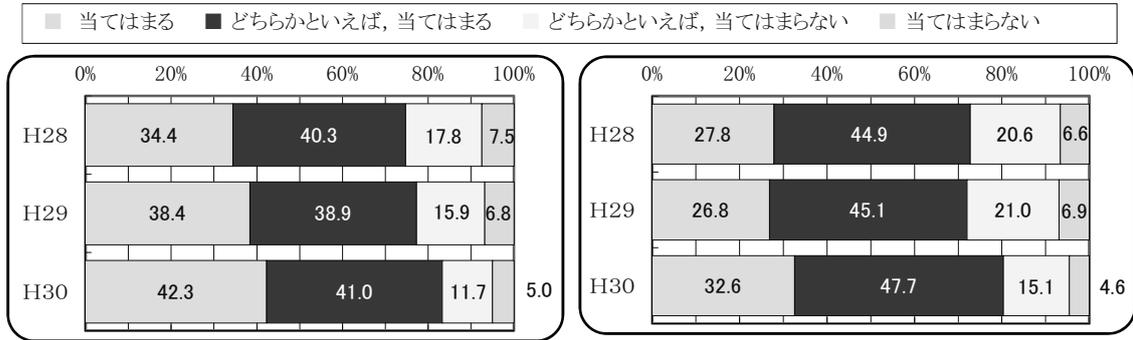
2 質問紙調査の結果

(1) 児童生徒質問紙調査

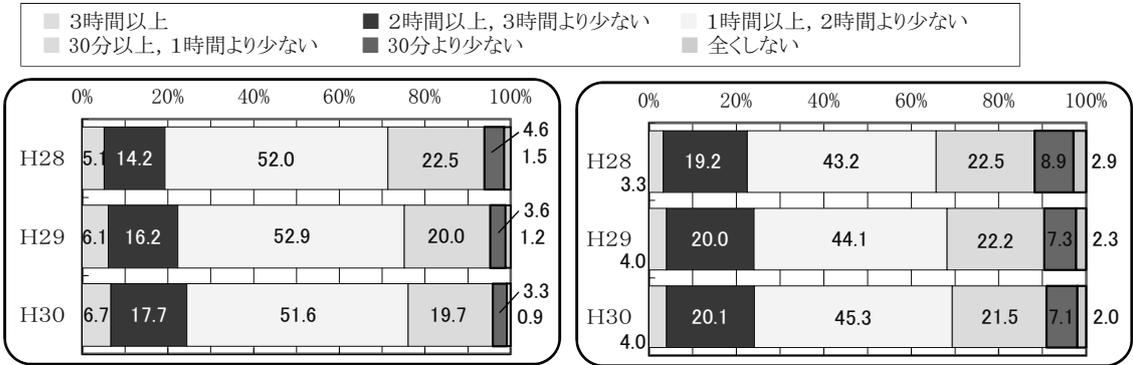
【小学校】

【中学校】

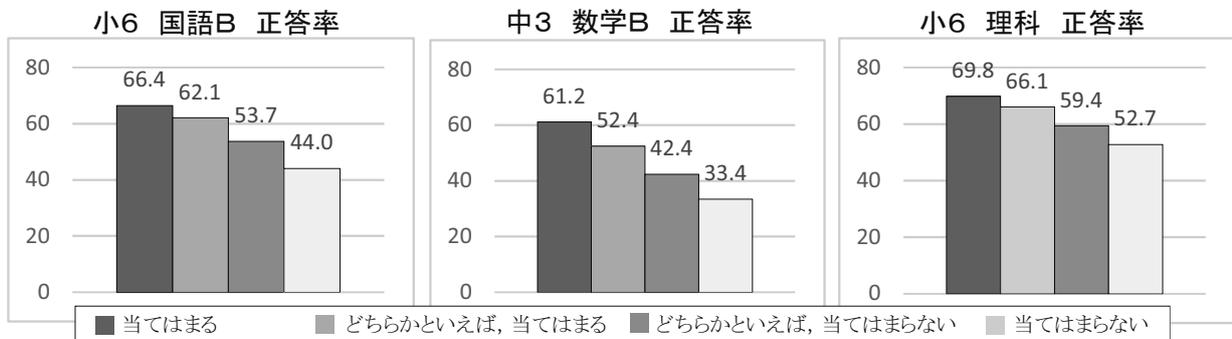
◇ 自分には、よいところがあると思いますか。



◇ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む。)

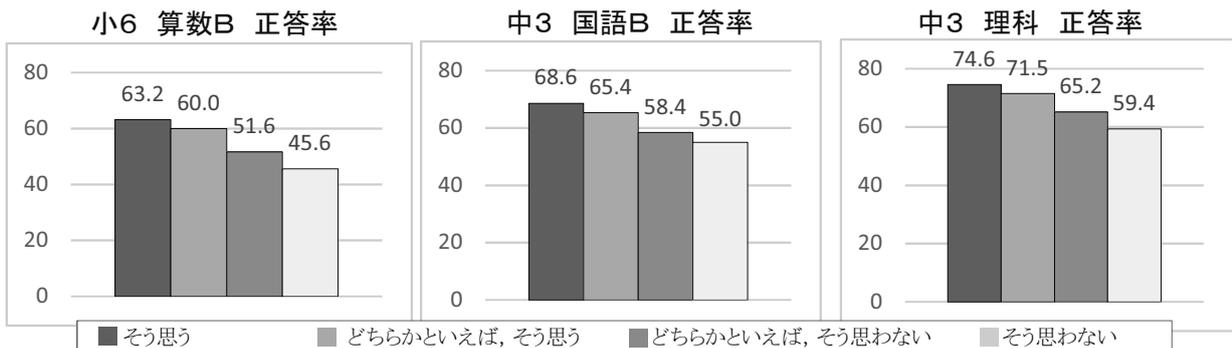


◇ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は国語B・理科、中は数学Bのグラフを抜粋

◇ 学級の友達と[生徒]の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は算数B、中は国語B・理科のグラフを抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い

↑:前年度より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い

※:未実施

① 算数・数学科に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の勉強は好きだ	H30	71.6	64.0	△	57.0	53.9	△
	H29	73.4	65.9	△	57.2	55.4	
	H28	71.6	66.0	△	58.0	56.0	△
算数・数学の勉強は大切だ	H30	94.7	92.1	△	↑ 87.3	↑ 83.6	△
	H29	93.9	92.0		84.5	81.1	△
	H28	93.4	91.9		83.4	80.5	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	H30	88.2	↑ 83.4	△	73.3	71.0	△
	H29	87.2	80.6	△	72.1	69.4	△
	H28	86.5	80.2	△	72.9	69.4	△
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	H30	81.6	78.4	△	72.5	70.3	△
	H29	84.6	81.1	△	74.7	73.5	
	H28	83.1	81.0	△	73.8	72.1	
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	H30	69.2	64.4	△	42.5	38.7	△
	H29	↑ 73.7	69.1	△	↑ 47.6	↑ 45.3	△
	H28	69.5	67.4	△	44.7	41.9	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	H30	93.1	90.3	△	78.0	72.9	△
	H29	91.4	89.1	△	77.0	72.4	△
	H28	91.9	89.9	△	76.0	71.5	△
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	H30	80.1	78.5		70.9	69.2	
	H29	83.6	81.4	△	↑ 71.4	↑ 71.2	
	H28	81.7	80.5		69.0	69.0	
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている	H30	83.3	80.4	△	73.2	70.4	△
	H29	↑ 85.2	82.6	△	74.0	↑ 72.1	
	H28	82.8	80.8	△	72.1	69.8	△
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている	H30	90.1	85.8	△	84.0	80.6	△
	H29	89.5	86.0	△	84.6	81.3	△
	H28	87.6	84.8	△	84.7	81.1	△
言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く(説明する)問題について、最後まで解答を書こうと努力した	H30	77.6	70.6	△	63.1	55.5	△
	H29	77.2	69.9	△	↑ 64.7	↑ 55.4	△
	H28	77.6	72.0	△	57.4	50.0	△

② 理科に関すること

項 目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
理科の勉強は好きだ	H30	83.1	83.5		67.6	62.9	△
	H27	82.3	↑ 83.5		↑ 65.7	61.9	△
	H24	81.3	81.5		61.5	61.6	
理科の勉強は大切だ	H30	85.2	85.4		↑ 75.8	70.6	△
	H27	87.9	86.9		↑ 73.6	69.3	△
	H24	87.0	86.3		70.5	68.5	△
理科の授業の内容はよく分かる	H30	89.5	89.4		74.0	↑ 70.0	△
	H27	88.4	87.9		↑ 72.2	↑ 66.8	△
	H24	88.4	86.0	△	67.2	64.1	△
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある	H30	87.6	87.0		↑ 77.9	↑ 77.6	
	H27	86.5	86.9		↑ 75.4	↑ 75.5	
	H24	85.5	85.7		70.9	70.2	
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	H30	65.9	64.7		49.3	45.4	△
	H27	↑ 69.5	↑ 69.3		↑ 47.9	↑ 46.9	
	H24	61.5	61.9		37.9	38.4	
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	H30	74.5	72.9		↑ 61.9	55.7	△
	H27	75.7	74.5		↑ 58.7	↑ 54.3	△
	H24	74.3	73.2		54.5	51.9	△
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい	H30	27.3	26.1		23.8	22.2	
	H27	27.0	28.8		24.0	22.9	
	H24	26.9	28.3		22.5	22.8	
理科の授業で、自分の考え(考察)をまわりの人に説明したり発表したりしている	H30	↑ 63.1	54.5	△	↑ 44.8	↑ 41.4	△
	H27	↑ 60.6	↑ 54.9	△	↑ 38.8	↑ 38.4	
	H24	52.8	46.7	△	28.4	27.4	
理科の授業では、理科室で観察や実験を月1回以上行っている	H30	93.3	89.1	△	↑ 94.5	↑ 87.1	△
	H27	93.4	90.0	△	90.5	83.9	△
	H24	※	※		※	※	
観察や実験を行うことは好きだ	H30	91.1	89.8		↑ 85.3	↑ 82.1	△
	H27	↑ 91.0	90.1		↑ 82.8	↑ 80.1	△
	H24	88.5	88.5		77.4	76.0	
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	H30	77.4	75.2	△	↑ 65.0	↑ 58.5	△
	H27	↑ 76.1	↑ 75.3		↑ 58.4	↑ 55.0	△
	H24	72.0	70.1		49.6	46.4	△
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている(結果をもとに考察している)	H30	↑ 84.0	81.8	△	↑ 78.1	↑ 72.3	△
	H27	↑ 81.2	↑ 80.4		↑ 69.6	↑ 67.2	△
	H24	78.4	77.1		59.9	56.5	△
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えている	H30	↑ 70.7	68.1	△	↑ 63.2	↑ 59.0	△
	H27	67.6	67.1		↑ 56.9	↑ 55.0	
	H24	67.6	65.2	△	51.5	49.8	
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した	H30	80.5	77.3	△	↑ 70.5	↑ 62.8	△
	H27	↑ 83.2	↑ 76.1	△	↑ 59.2	↑ 51.8	△
	H24	80.6	72.5	△	53.0	46.6	△

③ 学習活動に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	H30	85.9	85.3		↑ 82.4	82.2	
	H29	↑ 87.7	↑ 86.0		78.8	↑ 80.4	
	H28	83.2	82.6		78.2	78.0	
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う	H30	79.8	76.7	△	76.5	73.8	△
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
普通の授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う	H30	66.0	61.0	△	55.6	53.8	
	H29	↑ 69.3	64.9	△	59.1	57.9	
	H28	67.1	64.2	△	60.1	57.7	△
学級の友達(生徒の)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	H30	↑ 80.4	↑ 77.7	△	↑ 81.0	↑ 76.3	△
	H29	↑ 72.6	68.2	△	68.3	64.8	△
	H28	69.7	68.3		69.2	64.8	△

④ 学習習慣に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	H30	↑ 72.7	↑ 67.6	△	↑ 57.8	52.1	△
	H29	↑ 69.3	↑ 64.5	△	↑ 55.0	↑ 51.5	△
	H28	66.4	62.2	△	52.5	48.4	△
家で、学校の宿題をしている	H30	97.3	97.1		95.1	↑ 91.6	△
	H29	96.9	96.9		93.6	89.5	△
	H28	96.9	97.0		93.8	90.1	△
家で、学校の授業の予習・復習をしている	H30	73.0	62.6	△	59.1	55.2	△
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている	H30	78.1	69.9	△	71.0	71.3	
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強をしている	H30	76.0	66.2	△	69.4	70.6	
	H29	↑ 75.2	64.4	△	↑ 68.1	69.6	
	H28	71.3	62.5	△	65.7	67.9	▼
家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たり30分以上、読書をしている	H30	↑ 40.8	↑ 41.1		28.1	30.9	▼
	H29	35.7	36.5		26.4	29.2	▼
	H28	35.9	36.5		25.2	28.2	▼

⑤ 生活習慣に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
朝食を毎日食べている	H30	95.6	94.5		95.1	91.9	△
	H29	95.9	95.4		96.2	93.2	△
	H28	96.5	95.5		96.2	93.3	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	H30	78.7	77.0		78.4	74.2	△
	H29	82.2	79.8	△	79.8	75.6	△
	H28	81.5	80.1		80.8	75.2	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	H30	89.8	88.8		92.9	90.3	△
	H29	92.4	91.2		94.4	92.4	△
	H28	91.5	90.8		94.8	92.3	△
家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしている	H30	↑ 79.2	↑ 80.5		78.0	76.0	△
	H29	77.2	78.1		76.4	74.3	△
	H28	76.0	79.2	▼	76.8	74.1	△
新聞を週に1回以上読んでいる	H30	25.7	19.9	△	16.3	13.9	△
	H29	25.4	21.0	△	16.9	14.9	△
	H28	28.6	24.0	△	20.9	18.3	△

⑥ 自尊意識・規範意識等に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
自分には、よいところがあると思う	H30	↑ 83.3	↑ 84.0		↑ 80.3	↑ 78.8	
	H29	↑ 77.3	77.9		71.9	70.7	
	H28	74.7	76.3		72.7	69.3	△
将来の夢や目標を持っている	H30	85.4	85.1		↑ 72.5	72.4	
	H29	↑ 85.3	85.9		69.7	70.5	
	H28	83.3	85.3	▼	72.5	71.1	
学校のきまり(規則)を守っている	H30	90.5	89.5		95.4	95.1	
	H29	92.8	92.6		95.7	95.2	
	H28	91.9	91.5		95.5	94.7	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	H30	97.5	96.8		↑ 96.0	↑ 95.5	
	H29	96.6	96.1		93.0	92.8	
	H28	96.6	96.6		94.4	93.6	
人の役に立つ人間になりたいと思う	H30	↑ 95.8	↑ 95.2		↑ 96.1	↑ 94.9	
	H29	93.5	92.5		93.4	91.9	
	H28	94.0	93.8		94.5	92.8	

⑦ 社会に関すること

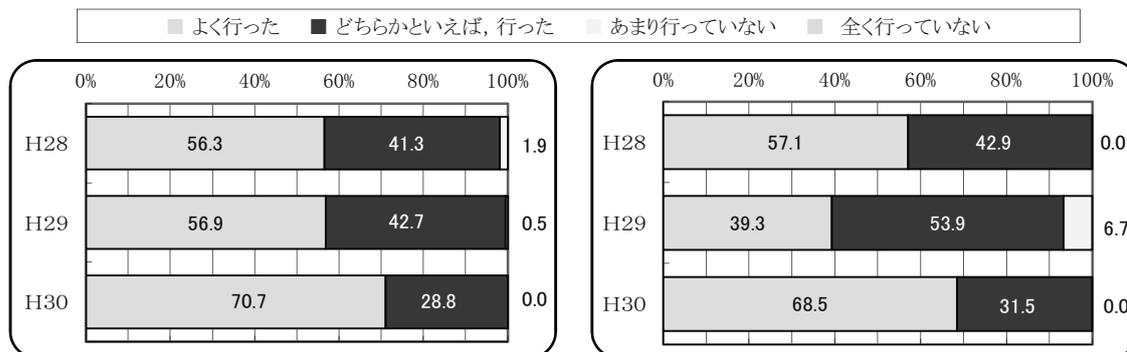
項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
今住んでいる地域の行事に参加している	H30	78.8	62.7	△	↑ 54.0	↑ 45.6	△
	H29	79.3	62.6	△	52.0	42.1	△
	H28	81.6	67.9	△	53.8	45.2	△
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	H30	66.0	63.8	△	62.3	59.3	△
	H29	66.2	63.9	△	61.3	59.2	△
	H28	71.6	70.6		68.3	65.8	△
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	H30	↑ 51.8	↑ 49.9		↑ 40.9	↑ 38.7	△
	H29	45.5	42.3	△	35.8	33.4	△
	H28	※	※		※	※	

(2) 学校質問紙調査

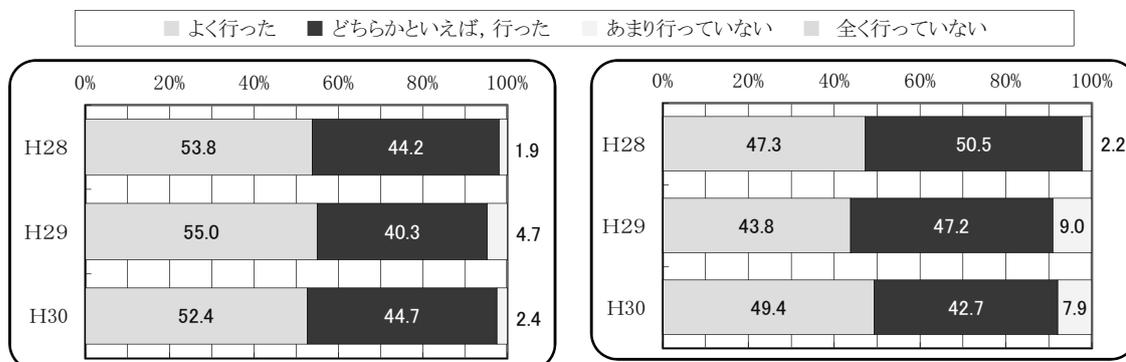
【小学校】

【中学校】

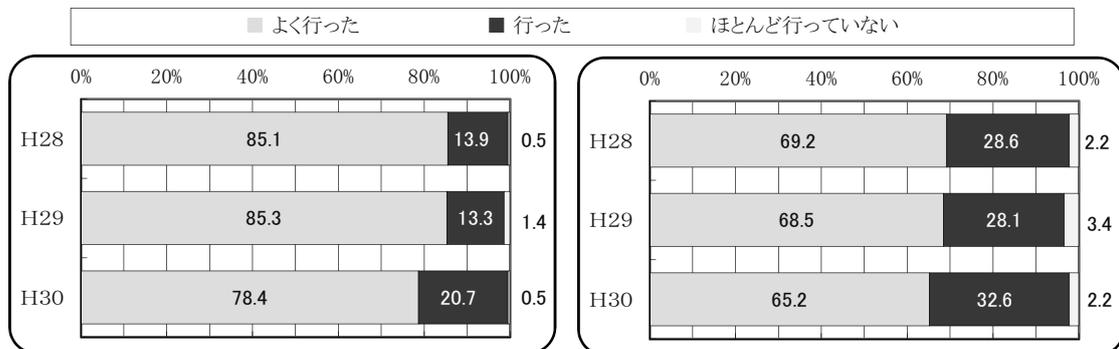
◇ 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。



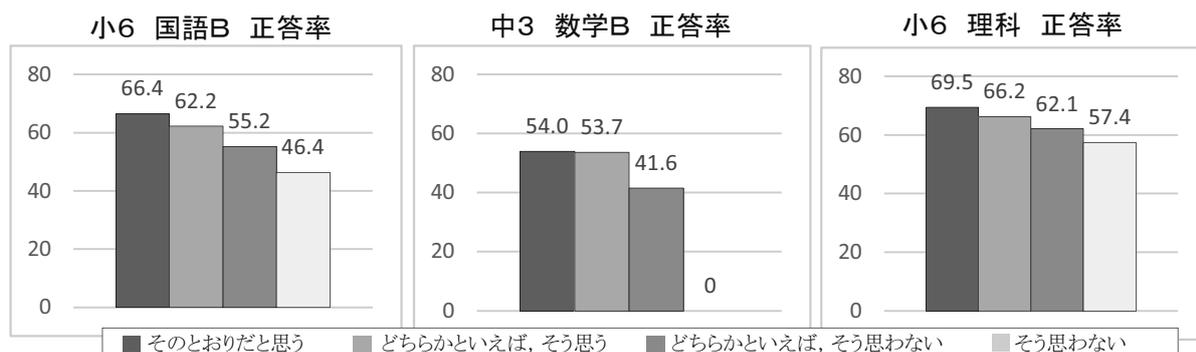
◇ 前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。【国語／算数・数学共通】



◇ 自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



◇ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。



※学校質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は国語B・理科、中は数学Bのグラフを抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い

↑:前年度より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い

※:未実施

① 児童生徒に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	H30	89.9	89.4		95.5	94.6	
	H29	↑ 93.9	90.7	△	96.7	94.6	△
	H28	91.3	90.5		96.7	94.5	△
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている	H30	85.1	83.6		84.3	80.8	△
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	

② 教育課程に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している	H30	↑ 97.1	↑ 94.7	△	↑ 91.0	↑ 90.2	
	H29	80.5	86.7	▼	80.9	78.3	△
	H28	86.6	85.8		82.4	78.0	△
教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している	H30	↑ 95.7	↑ 93.2	△	↑ 89.9	↑ 88.7	
	H29	87.2	85.8		76.4	77.5	
	H28	89.0	85.6	△	77.0	77.8	
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している	H30	95.7	↑ 94.9		95.5	↑ 93.1	△
	H29	94.8	↑ 91.5	△	↑ 95.5	87.8	△
	H28	93.8	88.5	△	93.4	86.3	△
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	H30	↑ 95.7	↑ 96.0		↑ 87.7	↑ 84.6	△
	H29	91.4	92.6		77.6	↑ 74.6	△
	H28	91.9	91.4		78.0	71.3	△
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	H30	87.0	90.6	▼	77.6	85.2	▼
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っている	H30	↑ 70.7	↑ 63.1	△	↑ 79.7	↑ 69.2	△
	H29	49.7	↑ 51.3		69.6	↑ 58.2	△
	H28	56.2	47.1	△	71.5	54.9	△

③ 学習指導・生徒指導に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている	H30	↑ 98.1	93.0	△	↑ 100.0	↑ 92.6	△
	H29	93.8	91.5	△	95.5	89.6	△
	H28	92.8	90.1	△	96.7	88.6	△
児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている	H30	↑ 81.8	↑ 83.3		↑ 100.0	98.6	
	H29	69.7	75.7	▼	95.5	97.5	▼
	H28	70.7	74.6	▼	96.7	97.1	
児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている	H30	94.2	↑ 96.5	▼	↑ 94.4	↑ 95.0	
	H29	93.3	91.6		86.5	87.0	
	H28	92.3	90.5		84.7	85.3	

項 目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底している	H30	99.0	97.7		↑ 100.0	98.3	
	H29	↑ 99.1	96.7	△	97.8	98.0	
	H28	97.1	96.6		97.8	97.9	
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている	H30	↑ 91.8	↑ 89.7	△	↑ 88.8	↑ 83.6	△
	H29	87.2	83.3	△	70.8	75.2	▼
	H28	※	※		※	※	
大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たり、週1回以上行っている	H30	70.2	73.0	▼	84.3	74.8	△
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
児童生徒が、コンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たり、週1回以上行っている	H30	26.4	36.6	▼	26.9	33.5	▼
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、評価している	H30	99.5	99.0		↑ 100.0	↑ 97.9	△
	H29	↑ 99.6	97.4	△	93.2	95.5	▼
	H28	97.6	98.4		100.0	97.2	△

④ 調査結果の活用に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
自校の調査結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用している	H30	99.1	97.6		97.8	96.1	
	H29	98.6	96.6	△	96.6	94.4	△
	H28	99.0	97.0	△	97.8	94.8	△
自校の調査結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行っている	H30	98.1	92.3	△	↑ 95.5	88.5	△
	H29	98.1	90.8	△	93.3	86.8	△
	H28	99.0	90.9	△	95.7	86.9	△
自校の調査結果を独自の学力調査結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている	H30	98.1	94.4	△	↑ 97.8	91.8	△
	H29	98.6	93.5	△	95.5	90.1	△
	H28	99.1	93.2	△	95.6	90.0	△
全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題を共有している	H30	65.0	↑ 63.3		↑ 83.1	↑ 64.0	△
	H29	↑ 63.1	↑ 53.0	△	↑ 73.1	↑ 56.8	△
	H28	58.2	49.5	△	67.1	53.9	△

⑤ 算数・数学科の指導方法に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行っている	H30	74.5	64.5	△	74.2	66.5	△
	H29	↑ 81.1	66.9	△	80.9	↑ 71.2	△
	H28	73.5	65.0	△	82.4	69.1	△
算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている	H30	78.8	↑ 78.0		↑ 84.3	72.1	△
	H29	↑ 79.7	75.2	△	↑ 77.5	70.9	△
	H28	76.5	74.1	△	74.7	69.2	△
算数・数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っている	H30	96.2	96.7		95.5	96.2	
	H29	98.6	97.5		↑ 98.8	96.5	△
	H28	96.7	97.7		96.7	96.7	

⑥ 理科の指導方法に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
理科の授業において、児童生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫している	H30	95.2	96.1		95.5	97.7	▼
	H27	※	※		※	※	
	H24	※	※		※	※	
理科の指導として、発展的な学習の指導を行っている	H30	↑ 60.1	↑ 56.5	△	73.0	↑ 69.0	△
	H27	↑ 53.7	↑ 47.2	△	↑ 74.7	↑ 62.5	△
	H24	48.2	42.2	△	63.8	56.7	△
理科の指導として、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行っている	H30	↑ 88.9	↑ 86.5	△	↑ 82.0	↑ 73.0	△
	H27	80.4	↑ 81.6		68.1	↑ 65.8	△
	H24	80.6	78.1	△	72.5	61.8	△
理科の指導として、観察や実験の結果を整理[分析]し考察[解釈]する指導を行っている	H30	97.6	↑ 96.0		96.6	↑ 94.3	△
	H27	↑ 96.8	↑ 93.8	△	95.6	↑ 91.3	△
	H24	91.4	91.2		94.8	88.9	△

⑦ 地域の人材・施設の活用に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている	H30	84.1	83.4		79.8	70.1	△
	H29	88.7	84.2	△	↑ 82.1	↑ 68.9	△
	H28	88.9	82.4	△	70.4	65.1	△
ボランティア等による授業サポート(補助)を行っている	H30	↑ 38.5	49.2	▼	25.9	33.0	▼
	H29	32.3	49.9	▼	↑ 26.9	31.4	▼
	H28	36.1	48.1	▼	23.1	29.8	▼
PTAや地域の人が学校の諸活動に参加している	H30	95.7	97.7	▼	91.0	90.4	
	H29	99.1	98.6		98.9	97.5	
	H28	98.1	97.7		97.8	95.6	△

⑧ 家庭学習に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っている(国語・算数・数学)	H30	98.5	97.2		↑ 94.4	↑ 91.9	△
	H29	98.6	97.0		88.7	87.6	
	H28	98.0	97.3		90.2	87.5	△
家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている(国語・算数・数学)	H30	96.7	↑ 91.6	△	↑ 95.5	↑ 87.1	△
	H29	95.8	89.6	△	92.2	82.2	△
	H28	96.7	88.8	△	93.4	82.1	△
家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えている(国語・算数・数学)	H30	97.1	93.3	△	92.1	90.2	
	H29	95.3	92.2	△	91.0	88.3	△
	H28	98.0	91.9	△	97.8	87.8	△
算数・数学の指導として、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導している	H30	99.1	97.6		↑ 92.1	94.5	▼
	H29	100.0	98.6		89.9	95.1	▼
	H28	99.5	98.3		95.6	94.9	
理科の指導として、家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について、評価・指導している	H30	↑ 80.8	74.1	△	↑ 86.5	89.0	▼
	H27	78.7	73.6	△	83.6	87.9	▼
	H24	83.2	81.8		87.9	93.1	▼

⑨ 教員研修に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている	H30	95.7	94.0		91.1	88.5	△
	H29	94.8	93.6		93.2	↑ 88.4	△
	H28	97.6	93.0	△	91.3	86.0	△
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている	H30	96.6	96.7		91.0	90.9	
	H29	97.7	↑ 95.6	△	↑ 93.3	↑ 90.0	△
	H28	97.2	92.8	△	87.9	84.2	△
近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている	H30	77.9	↑ 69.5	△	88.7	76.5	△
	H29	81.0	↑ 65.6	△	↑ 87.7	↑ 74.8	△
	H28	79.8	62.5	△	82.5	72.5	△

⑩ 教職員の取組に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	H30	97.6	96.9		↑ 94.4	93.9	
	H29	98.1	96.4		92.1	92.6	
	H28	100.0	95.9	△	97.8	91.9	△
学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている	H30	95.2	↑ 93.1	△	↑ 96.6	↑ 86.0	△
	H29	93.3	91.1	△	↑ 92.1	82.5	△
	H28	94.3	90.8	△	90.1	81.5	△
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる	H30	99.1	98.5		↑ 98.9	96.9	△
	H29	99.0	98.0		96.7	96.6	
	H28	98.6	97.9		96.7	96.4	
学校として業務改善に取り組んでいる	H30	97.1	97.4		97.8	96.8	
	H29	※	※		※	※	
	H28	※	※		※	※	
校長は、校内の授業を、ほぼ毎日見て回っている	H30	↑ 89.9	↑ 70.4	△	66.3	↑ 48.1	△
	H29	86.3	68.0	△	↑ 74.2	44.9	△
	H28	88.9	66.7	△	65.9	44.2	△

平成30年度
全国学力・学習状況調査 ー結果の概要ー
平成30年9月発行
石川県教育委員会事務局学校指導課
〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076-225-1827
e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp